

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡県 地域ワークショップ 報告書

2018（平成30）年2月21日（水）に、スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」静岡県地域ワークショップが開催されました。当日は、静岡県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方3名に加えて、市区町村の教育事務局の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年2月21日（水）13時30分～16時30分

会場：静岡県教育会館

主催：静岡県コンソーシアム、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：約40名

プログラム：

13:30～13:35 主催者挨拶 静岡県教育委員会事務局健康体育課 課長代理 濱村 幸美 氏

13:35～14:15 中核拠点早稲田大学における取組について、他県における実践事例について
早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 主幹研究員 吉永 武史氏
研究員 岡田 悠佑氏

14:15～14:40 静岡県における取組について
静岡県教育委員会事務局健康体育課 学校体育班 教育主査 鈴木 淳矢氏
静岡県オリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方

14:40～14:50 休憩

14:50～16:00 「パラリンピック教育啓発事業」について、ボッチャ体験会
朝日新聞社 日高 一成氏
日本財団パラリンピックサポートセンター 徳留 圭吾氏

16:00～16:50 オリンピック・パラリンピック教育 推進委員会

開会行事では、静岡県教育委員会事務局健康体育課課長代理の濱村幸美氏より主催者挨拶がありました。

続いて、全国中核拠点の早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター（以下、「早大オリ・パラセンター」）主幹研究員の吉永武史氏より、事業概要と今年度、早大オリ・パラセンターが作成したDVD教材（「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」：副島正純氏を取り上げたパラリンピック教育の教材）の紹介がありました。加えて、早大オリ・パラセンター研究員の岡田悠佑氏より、静岡県以外のオリンピック・パラリンピック教育（以下、「オリ・パラ教育」）の実践事例の紹介がありました。

さらに、静岡県教育委員会事務局の鈴木淳矢氏とオリ・パラ教育推進校の3名の先生方より、本年度の静岡県におけるオリ・パラ教育の取組の紹介がありました。今年度、静岡県では、小学校3校、中学校2校、高等学校3校の計8校でオリ・パラ教育実践が行われました。静岡県のオリ・パラ教育の目標、各校の取り組みの概要、実践してよかった点、実践するうえで困難であった点などのお話がありました。全てのオリ・パラ教育実践校で熱心に取り組んでいただいたおかげで、これまでにない様々な取り組みが行われたことがわかりました。ただ

し、オリンピック・パラリンピアンへの派遣の方法や実際に学校に来ていただく際のやり取りに関しては、課題が多いということも報告されていました。



濱村 幸美 氏



鈴木 淳矢 氏



吉永 武史 主幹研究員



DVD 教材の紹介



岡田 悠佑 研究員

休憩後には、朝日新聞社主催のパラリンピック教育の促進のための研修が行われました。具体的には、パラリンピックサポートセンターの方によるパラリンピック教育の教材である「I'm POSSIBLE」の紹介と、日本ボッチャ協会の方の指導によるボッチャ体験会が行われました。



「I'm POSSIBLE」の紹介



ボッチャ体験①



ボッチャ体験②



ボッチャ体験③